

イオンモール株式会社が発行する「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

株式会社テクノ菱和（代表者名：黒田英彦、以下「当社」という）は、このたび、イオンモール株式会社（以下、「イオンモール」という）が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド（イオンモール株式会社第28回無担保社債）以下「本債券」という）への投資を実施しましたので、お知らせします。

<本債券の概要>

銘柄	イオンモール株式会社第28回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
年限	5年
発行額	200億円
発行日	2021年11月26日
SPT (*1)	2025年度末における国内の全イオンモールで使用する電力のCO2フリー化
判定後の債券特性	2025年度末の判定時にSPTの未達を確認された場合、2026年10月末までに本社債発行額の0.2%相当額の公益財団法人（イオン環境財団等 (*2)）への寄付を実施する。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指す。調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定される必要はなく、発行体があらかじめ定めた重要な評価指標（KPI）とSPTによって評価される。KPIに関して達成すべき目標数値としてSPTが設定され、KPIがSPTを達成したかどうかによって、債券の条件が変化することで、発行体にSPT達成に向けた動機付けを与える債券です。

当社は本債権への投資を通じて、社会課題の解決と環境配慮へ貢献していきます。

当社は、本債権を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンド・トランジションボンド・サステナビリティリンクボンドへの投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

(*1) サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT)

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の経営戦略に基づく目標。

(*2) 公益財団法人イオン環境財団

助成・支援、植樹、顕彰、環境教育を柱とした公益事業を営む (<https://www.aeon.info/ef/>)。イオンの基本理念「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」のもと、岡田卓也氏（イオン株式会社名誉会長相談役・公益財団法人イオン環境財団理事長）他2名からの寄付を基本財産として1990年12月設立。1991年に特定公益増進法人の認可を受けた後、2009年に公益財団法人に移行。

以上